

人生の中で一番輝く年代「サードエイジ」

今まで人生を「第1の人生」「第2の人生」のように、年齢を基準で分けることが一般的でしたが、平均寿命が延び、人々のライフスタイルが多様化する現代では、年齢で人の一生を説明することが困難となってきました。英国の学者ピーター・ラスレットは「ファーストエイジ(教育を受け社会に出るまでの年代)」「セカンドエイジ(仕事・子育てをする現役世代)」「サードエイジ(現役から引退し、自己実現と達成の年代)」「フォースエイジ(人生の終末までの年代)」の4つに分ける説を提唱しました(The Emergence of the Third Age 1978年)。そこで私たちは「サードエイジ」世代を「人生の中で一番輝く年代」として応援し、発信しています。

講師ご紹介



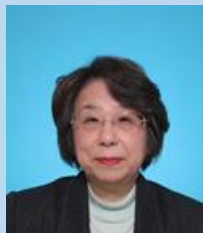
中村洋子氏 (株)スズキヤ代表取締役会長)

逗子生まれ、逗子育ち。小さい頃は小売業を営む両親の手伝いをしながら従業員との共同生活。大学卒業後はイギリスに留学し、ホームステイをしながら英語を学ぶ。帰国後は営業に携わりながらも東京六本木にうなぎ屋とスナックを開店。その後世界中を周り、文化に触れる。



石井康生氏 (逗子防災士の会代表)

逗子防災士の会代表。逗子・葉山アマチュア無線クラブ会長。湘南ビーチFM無線技術士。逗子生まれ逗子育ち、アマチュア無線を趣味とし、本職はライフラインに関する仕事であるため災害時のインフラや通信の重要性を考え防災活動も行う。神奈川県職員。防災士、第1級陸上無線技術士。



木戸恵美氏 (社会保険労務士)

都内で社会保険労務士事務所を営んでいます。会社に対しては社会保険関係の手続や人事労務相談など、個人の方には年金相談・手続を業務としています。外国企業の日本進出に伴う労務・社会保険手続や、仏語・英語による人事労務サポートにも対応しています。お客様にわかりやすく丁寧な対応を心がけています。逗子在住。



佐藤泰生氏 (絵札制作/洋画家)

1945年大連生まれ。1969年東京藝術大学大学院修了。1973～78年フランス政府給費留学生として渡仏。1977年第12回昭和会展、昭和会賞受賞。1981年東京セントラル油絵大賞展、優秀賞受賞。和光大学名誉教授。現在 新制作協会会員・日本美術家連盟委員。著書「ガラス絵の楽しみ」「マスクはおしゃべり」「ハルくんの虹」。逗子在住。



小山涼子氏 (逗子かるた作成委員会委員長)

逗子を終の住処にするべく12年前に転入。生涯11軒目にして初めて自分で選んだ地。転入と同時に逗子市郷土資料館に勤務し、古き良き逗子に触れ、それらが失われつつあることに危機感を抱く。かるたのコレクションは24。東京藝術大学美術教育研究会会員。NPO法人逗子まちなかアカデミー理事



逗子をクイズ化！本で読める化！「知っ得ずし Q&A」～読めばご当地コンシェルジュ～

逗子の自然・景観、歴史・旧跡、寺院・神社、文化・芸術、暮らしなどを120問にまとめました。



逗子の魅力をアートで楽しむ「逗子かるた」

残しておきたい、伝えていきたい逗子の宝もの、豊かな歴史・文化・自然などを、多彩なタッチでまとめました。わいわいわくわく楽しみましょう。